

提案概要

文化記念公園内施設（文化記念プール、文化記念運動場、文化記念庭球場）

団体名：文化記念公園S・F共同事業体

団体名：九州林産株式会社

1 指定管理者としての適性について

<p>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針</p> <p>基本理念: 私共は創意工夫に満ちた施設運営をとおし、市民サービスの向上と施設の集客向上を促進し、スポーツ機会の創出と元気な街づくりの推進に貢献します。</p> <p>基本方針: 1. 自主事業の拡充 2. 施設機能の維持 3. 指定管理料の効果的活用 4. 利用者サービスの向上 5. 指定管理者レベルの向上</p>
<p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤</p> <p>西部ガス興商: 不動産、スポーツ施設運営事業等を50年弱に亘って安定経営の実績。年間売上高は74億円、利益10億円。 現地運営を北九州営業所、スポーツ健康部をはじめ本社がサポート。 指定管理者へ積極的な取り組み。（4自治体4施設）</p> <p>富士メンテナンス: 北九州市や民間企業から数多くの清掃、建物維持管理等の受託実績。 警備業免許保有の他、維持管理業務に必要な資格保有者が多数在籍。</p>
<p>(3) 実績や経験など</p> <p>西部ガス興商: 佐世保市温水プールなど類似施設を4自治体4施設での指定管理者の実績があり、直営のスポーツ関連施設を6施設運営。</p> <p>富士メンテナンス: H26～30年度にわたり文化記念公園内施設の運営実績。 また、H18～H25年度にわたり西部ガスの元で当施設の維持管理業務等を受託。</p> <p>専門知識・経験: 警備業、健康運動指導士、エバーサルマナー検定取得など必要な資格を多数有す。 現地職員、西部ガス興商、富士メンテナンスの役割を明確に定め管理運営に取り組んでいる。</p>

1 指定管理者としての適性について

<p>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針</p> <p>基本理念: 「より多くの市民にスポーツ施設を利用してもらい、健康で明るい市民生活を向上する」</p> <p>基本方針: 1. 利用者の満足度を高める 2. 安全で安心して利用できる施設を維持する 3. サービスの質を落とさず経費を縮減する 4. 平等利用、公平性の重視 5. 環境への配慮</p>
<p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全員99名で北九州市を始め全九州に造園業事業や林業事業を展開。 ・ 九州電力の100%子会社で万全の人的基盤。 ・ 長い経営実績があり、財務指標においてもよい数値を示しており安定した財政基盤。 ・ 現在、無借金経営を継続中。
<p>(3) 実績や経験など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成20年度より指定管理者施設運営開始。 ・ 現在5施設を管理運営。 <ul style="list-style-type: none"> 1. 西南杜の湖畔公園（福岡市） 2. 筑豊緑地（福岡県） 3. 夜須高原記念の森（福岡県） 4. 今津リフレッシュ農園（福岡市） 5. かなたけの里公園（福岡市）

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み
<p>(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北九州市スポーツ振興計画など施設の目的に対する施策を定め取り組む。 ・ スポーツ機会創出の為に自主事業を拡充する。（13種⇒28種、参加9千人⇒11.5千人） ・ 利用者サービス向上の為に、券売機設置などソフト・ハードの改善に取り組む。 ・ 水泳競技団体をはじめスポーツ団体との関係強化を図る。 ・ 庭球場運営委員会との定期会議の開催や自主事業での相互施設の活用などに取り組む。 ・ ホームページや西部ガスグループのネットワークを活用した広報活動に取り組む。
<p>(2) 利用者の満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート調査や利用者のご意見に基づいた利用者満足度向上に取り組む。 ・ 利用者意見等に対するPDCAマネジメントサイクル手法による確実な改善の実施を図る。 ・ 苦情に対する体制の整備と苦情等の収集と情報共有のシステム化に取り組む。 ・ 文化記念通信発行、施設内情報掲示などにより利用者への情報提供に取り組む。 ・ 地域と連携した清掃活動や公園内の犬の放し飼い対策などの提案を行う。

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み
<p>(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの市民に利用される施設を目指す。 ・ 目標値を初年度133,000名、最終年度137,000名とする。 ・ 施設の点検整備、清掃を行い、清潔で利用しやすい公園を目指す。 ・ 北九州市のスポーツ振興計画の支援となる運営を目指す。 ・ 魅力的な自主事業で、施設の利用増を図る。 ・ プール共用期間（7月～8月）以外のプールエリア活用を推進する。 ・ 自主事業以外のサービス向上でも集客を高める。
<p>(2) 利用者の満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設利用者の満足度を利用者アンケートで評価する。 ・ 満足度の目標値を単年度85%以上とし、継続する。 ・ 利用者の意見要望をご意見箱他より収集し業務改善に活用する。 ・ 苦情があった場合、マニュアルに従って速やかに対応する。 ・ 日々改善を目指し、PDCAサイクルを活用して実施する。 ・ 年末年始以外の休業日については週1回程度とし、営業日を拡充する。

提 案 概 要

文化記念公園内施設（文化記念プール、文化記念運動場、文化記念庭球場）

団体名：文化記念公園S・F共同事業体

団体名：九州林産株式会社

【効率性】に関する取組み	【効率性】に関する取組み
<p>(1) 指定管理料及び収入</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで取り組んできた電力デマンド管理による電力料抑制、プール節水の取り組みを継続し水道光熱費の最小限化を図る。(施策の年間低減効果：水道3,000千円、電力800千円) これまで取り組んできたプール監視要員の効率的な配置の取り組みを継続し、人件費の低減に努める。(施策の年間低減効果：2,000千円) 修繕は極力材料調達の上、職員が実施するなど内製化の推進による経費削減に取り組む。 消耗品等の購入に際しては他施設等との共同購入による経費低減に取り組む。 スポーツ教室等の自主事業の拡充による収入増加と、自動販売機手数料収入の一部充当を行う。 	<p>(1) 指定管理料及び収入</p> <ul style="list-style-type: none"> 経費の削減で人件費の高騰に対処する。 プール時期の人件費は自社社員、パートで対応し人件費を抑制する。 指定管理料は指定期間をとおして同額の年間50,544千円(税込み)とする。
<p>(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> 経費は当施設の全品目でH26～29年度の当施設の実績を精査し、品目毎に計上。 点検工事等については工数等の確認を行い計上。 ほぼ全ての業務を共同事業体内で対応し、再委託を抑制。 専門業者に委託が必要な場合、富士メンテサービスのネットワークを通じて、相見積を取得、低コスト業者を選定。 	<p>(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> 収支計画分析により無駄のない計画とする。 適切な改良計画とメリハリのある管理で効果的に投資する。 当社の経理システムにより健全で正確な会計管理を実施する。 再委託は信頼できる地元企業にする。
【適正性】に関する取組み	【適正性】に関する取組み
<p>(1) 管理運営体制など</p> <ul style="list-style-type: none"> 現地スタッフ、サポートスタッフの役割分担を明確にすると共に、外部協力機関、外部団体を含め運営管理体制を構築。 現地スタッフは、西部ガス興商1名、富士メンテサービス3名を専任常駐し、共同事業体にて強力なサポート体制を構築。 当施設の運営管理に必要な資格や経験を持つ人員を配置します。 「事前研修」「定期研修」「レベルアップ研修」によって、職員の資質・能力向上を図る。 これまでに培った地域住民や関係団体等との連携を現地スタッフを中心に図る。 	<p>(1) 管理運営体制など</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設長を責任者とし、副施設長、マルチスタッフ2名、受付3名の計7名の体制とする。 北九州市担当者をメンバーとする会議体を設置する。 適正ある人員を適所に配置する。 職員育成のため、研修を実施する。 希望があれば現行の施設職員の採用を推進する。
<p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</p> <ul style="list-style-type: none"> 西部ガス興商の顧客約20万件の管理ノウハウを活かし、北九州市個人情報保護条例に基づいた個人情報保護を行う。 「ユニバーサルマナー検定」の資格取得をはじめ、施設の公共性、公平性、公正性を確保し、利用者が平等に利用できるよう当施設の管理運営を図る。 安全管理マニュアルを基に、安心・安全に施設を利用できるように管理運営を行う。 日頃よりAED研修の実施や50mプールの高水位時の利用制限、熱中症予防対策など安全対策に取り組む。 「緊急・防災対策マニュアル」の整備や、大災害発生時には「予定避難所」として住民の避難誘導や怪我人の処置とともに、市や消防など所管機関が行う災害対策活動を支援する。 	<p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護について教育を実施する。 法令を遵守し、利用者に公平に対応する。 開園時、閉園時には警備の巡回を導入し、日々の安全確保に努める。 日常の施設安全点検を確実に実施する。 事故が発生した場合は緊急連絡体制により対応する。 事前対策を徹底し、事故の未然防止に努める。

提案額（千円）

平成31年度：48,600千円	平成31年度：50,544千円
平成32年度：48,600千円	平成32年度：50,544千円
平成33年度：48,600千円	平成33年度：50,544千円
平成34年度：48,600千円	平成34年度：50,544千円
平成35年度：48,600千円	平成35年度：50,544千円